

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 図書館法第3条各号に規定する事項に関すること。 (2) 図書館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (3) 市史販売等に係る料金の徴収に関すること。 (4) 読書の普及活動及び読書団体の支援に関すること。 (5) 図書館法第2条に掲げる目的のために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(図書館においては利用冊数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95%:4点	平均値比(%)=(R6年度実績)÷((R5年度実績+R4年度実績+R3年度実績)/3) R6:563,563冊 R5:582,079冊 R4:569,688冊 R3:558,405冊 【参考】前指定管理期間の平均:634,673冊(R2:516,286冊、R1:644,260冊、H30:662,333冊、H29:680,520冊、H28:669,967冊) 【参考】開館日数:R6::299日、前指定管理期間の平均日数:290日(R2:259日、R1:301日、H30:299日、H29:296日、H28:296日)	4点	
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(図書館においては貸出人数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95%:4点	平均値比(%)=(R6年度実績)÷((R5年度実績+R4年度実績+R3年度実績)/3) R6:135,783人 R5:139,090人 R4:135,683人 R3:132,427人 【参考】前指定管理期間の平均:167,893人(R2:118,961人、R1:158,491人、H30:164,904人、H29:169,591人、H28:169,185人)	4点	
						平均値比(98.9%)=利用冊数(563,563冊)÷570,057冊(上記②適用)				
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P275～280 ①第58回多治見市文芸祭 一般の部(657人 1,254点)、小中学生の部(5,734人 9,240点) ②企画展示事業 季節のミニ展示(35回) ③郷土資料室 (1)古文書ミニ展示(6回) (2)郷土資料を活用した「たじみ昔かわら版」の発行(2回) (3)令和版多治見かるたの作成と活用 (4)市内外の機関へ所蔵資料の提供(93回) (5)病院や介護施設などへの写真パネルの貸出(34回)	仕様書以上 14点	①県外からの応募が約半数を占め、全国的な認知度の向上が顕著。小中学生を含む若い世代に対しても、作品発表の場として浸透しつつある。郵便料の値上げに対して、窓口やメールでの作品受付を行うなど柔軟に対応。 ②日本の四季や伝統行事に関連した展示を企画。本を通じて季節を感じられる工夫。 ③古文書ミニ展示は、1階ロビーで開催することで、図書館利用者以外の来館者にも郷土資料のPRや活用、多治見の歴史を知る機会を提供。 ④郷土資料を系統立てて保存・管理していることが広く認識され、市役所をはじめ多くの機関へ資料の提供を実施。啓発事業として企画展示に協力し、地域の歴史文化の発信に努めた。	14点	
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る:2～0点	年次報告書P281～306 ①ブックスタート事業、読書活動団体連携事業 (1)ブックスタート(21回456組) (2)小さなおともだちのためのおはなし会(25回366人) (3)読書活動団体との連携事業「クリスマス会」(100人) (4)手作り絵本巡回展(191人) (5)共催講演会(2回134名) ②英語多読支援事業 (1)講座・ワークショップ(4回102人) (2)多読クラブ(12回148人) (3)多読推進事業(2回437名) (4)シンポジウムでの事例発表 ③読書推進事業 (1)トショカンフェス(476人) (2)本を読んでガチャポン(2,611人)、おみくじガチャポン(565人) (3)多高図書館ゼミとながせ商店街のまちゼミへの参加 (4)他施設共催による読み聞かせ (5)企画展示(101回) (6)啓発・連携展示(31回) (7)雑誌リサイクルフェア(3回) (8)市委託事業「くまのがっこう子育て応援プロジェクト」	期待以上 13点	①ブックスタート事業では、直接絵本を手渡し親子がふれあう機会を提供。図書館ガイダンスを合わせて実施することで、市民の図書館利用登録率は65%を超えた。 ②英語多読支援は、資料の提供・学ぶ機会の提供・仲間づくりの場の提供を軸に、国内有数の先進施設と認知される。実践者からの提案に基づく事業の展開、利用者と図書館の共同事業を実現。 ④企画展示は来館ごとに新しい発見があるよう工夫をし、来館のきっかけを提供している。 ⑤近隣地域との連携、高校生・地域・図書館の三者による事業で地域の活性化を図るほか、ボランティア団体等との連携で市民の読書活動推進に努めている。 ⑥雑誌リサイクルフェアは抽選から自由配布に見直し、参加のハードルを下げるとともに、除籍から短い時間で希望者の手元に届くように改善。 ⑦本を借りて参加できるガチャポンで、新しい本との出会いを提供。カプセルの中身に多工高生徒の作品を加え、双方のメリットとなる取り組みとした。	13点			
		(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P264(学習館と共通) ①図書館として定期清掃、日常清掃を実施。閉館時間を活用し、ロボットクリーナーによる清掃を実施。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。	10点	
②保守・点検	年次報告書P264～265(学習館と共通) P307 図書館として機器等保守点検(図書館システム) ①文化財等を収蔵する保管庫の適切な温湿度を適切に維持管理。 ②気象警報発令時や地下空調工事の際に、地下の資料の緊急避難で保全に努めた。		適正(普通) 2点			適切に実施されている。				
③保安・警備	年次報告書P265(学習館と共通)		適正(普通) 2点			適切に実施されている。				
④小規模修繕	年次報告書P266～267(学習館で一部対応) P307 図書館としての有償修理 1件 183,040円		適正(普通) 2点			適切に実施されている。				
⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	年次報告書P308 ①毎朝の日常点検から本棚や机、椅子等のネジの緩みの確認、エンジェルカート、ワゴンカートの動作確認を実施。 ②救命救急講習を休館日の閲覧フロアを利用して実施。救急時の動きを確認。		適正(普通) 2点			適切に実施されている。				

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P307 ①市のファイリングシステムに準じて適切な管理と情報を共有。 ②図書館各階の業務用パソコンで職員が相互に業務連絡やメールの最新情報を把握できる体制を確立。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。	10点			
			②環境への配慮			年次報告書P307 ①エアコンの冷房と壁掛扇風機を併用。カウンター前にダクトレールファンを設置。 ②除籍資料はリサイクルフェア等を活用して利用者や公民館へのリユース。 ③除籍した児童書や絵本を再利用し茶を作成し事業に再利用。また廃材を活用したエコ工作を提案。 ④再利用に耐えられない除籍資料は古紙リサイクル。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。				
			③バリアフリー			年次報告書P308 ①ホームページでの本の検索に障がい者支援ブラウザを導入。視力が弱い利用者 を支援(東濃3市では本市のみ) ②館内の案内はイラストや大きな文字を用い、ユニバーサルデザインに配慮。 ③開架フロアに「車いす優先席」を設置。 ④文字が読みづらい利用者向けに「大活字本」を提供。また所蔵する録音図書は文字 が見難い方にも貸出。 ⑤トショカンフェスでDAISY図書をPR。録音図書自体の啓発も実施。 ⑥大活字本を公民館へ団体貸出し、読書へのニーズをサポート。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。				
			④備品管理			年次報告書P308 ①やさしすと文庫基金や環境整備事業等を活用。資料が活用されやすいよう備品を 整備。 ②経年劣化や不具合のみられる機器等は、迅速な修繕、更新。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。				
			⑤個人情報保護			年次報告書P308 ①各階にシュレッダーを配置し、個人情報記載の書類は適宜廃棄。 ②図書館システムの画面は、可能な限り個人情報を表示しない設定とし、紙の情報 管理からシステム管理に移行。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。				
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び 事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不 備あり:△1点)	事故なし。		事故なし・対応に 不備なし 0点	事故なし。	0点
			3			当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支		5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、 105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入283,963,077円÷支出289,470,094円＝98%(学習館、子ども情報センター、市民 活動交流支援センター含む)
4	より良い施設 運営のための 取組 (30点)	(1)市民・利用者の声 の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P310～311 ①図書館に行けない市民等に対して、公民館や文化会館等を拠点として図書資料と 利用者をつなぐサービスを提供。 ②教育委員会主催「多治見大好き講座」に資料提供と講座を実施。郷土愛を育む きっかけづくりに貢献。 ③案内パンフレットを刷新。施設案内と行事案内を分けて製作。より分かりやすい紙 面とした。 ④多治見にかかわる人物を応援・紹介する「わがまちきりり人」ブースは、利用者か らの推薦も受付、より幅広い人物の紹介コーナーにしている。 ⑤公民館・交流センター図書室の資料が外部から検索できるよう、図書館システムを 変更。	期待以上 9点	①公民館等と連携し図書資料を提供するサービスは、図書館を利用しない人も本に触れら れる機会として提供。公民館等の図書室の資料が検索できるようシステムを更新。公民館 等の利用の促進にもつなげている。 ②「多治見大好き講座」など子どもへのアプローチについては、資料を用いて歴史や文化に ついて理解を深める機会の提供だけでなく、ふるさとへの愛着と、多治見の歴史を学ぶきっ かけづくりとして寄与。 ③「わがまちきりり人」コーナーで市民からの推薦を受け付け、多治見市に関わる幅広い人 物を紹介することで、施設と市民との関係性を深める取り組みになっている。	9点			
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿 勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果 ポイント(15点)	②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1 点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以 上 5点	苦情なし。	5点			
				15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P312～313 ①所蔵する陶磁器資料の活用のため、陶磁器意匠研究所、多工高に対して図書館 を案内し、団体貸出の準備も進めている。 ②「サタデーナイトライブラリー」は、高校生の活動発表の場としたほか、地下フロア を紹介し資料の収集・保存という図書館の役割をPR。 ③英語多読事業は、実践者が講師となり参加者に寄り添った講座とした。参加者か らの発案を事業として実施し、参加者と図書館の共同事業とした。 ④小学生を対象とした「こども司書」講座は、図書館の仕事の紹介、所蔵資料の説明 など子どもたちの学習の機会として企画。 ⑤公民館・交流センター図書室と連携し、古くなった資料から各地域のニーズに沿っ た資料へとリニューアルを実施。	期待以上 13点	①陶磁器資料を意匠研や多工高へ案内し、学術と創作活動の支援につなげるなど、資料 活用の促進に努めている。 ②継続的に行っている「サタデーナイトライブラリー」は近隣高校生の活動発表の場の提供 しており、地域の若者の才能を市民に広げる意義ある取り組み。 ③英語多読事業では、実践者を講師として迎えたことで参加者との距離を縮め、実用的で 充実した講座内容を提供。少人数制のグループワークや複数回開催で参加者の個々の学 習課題に具体的に対応する形式が好評。さらに講座参加者発案の事業を実施することで、 利用者との共同事業を実現している。 ④子どもを対象にした講座は図書館への親しみを深め、知識探求や学習意欲を育む場とし て成果を上げているほか、キャリア教育として有意義な活動である。	13点			
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あ り(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下): △3	不備なし。	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし。	0点				
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以 外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等 の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応 等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中 程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし。	指示等なし・対応 等が期待どおり 減点なし	指示等なし。	0点				
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計85点	極めて良好		